

執筆：SecurityScorecard 中村 悠

編集：SecurityScorecard 橋本 詩保

今だから知りたい、『脅威インテリジェンス』 シリーズ #6

第六講：「“セキュリティ リスク レイティング” はこうやって活用する。」

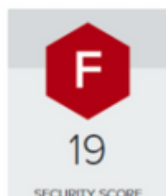
前回のコラムでは、「“セキュリティ リスク レイティング” とは何か？」というテーマで話を進め、その中で、

『組織のセキュリティ態勢が攻撃者から見た時にどのように映っているのか。』を知ることができる脅威インテリジェンス

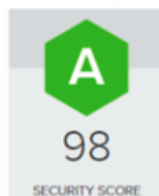
という説明をしました。

「セキュリティ リスク レイティング」を利用することで、その組織のセキュリティ態勢を以下のように一目瞭然に判断することができます。

▼レイティングが低い企業



▼レイティングが高い企業



ここまで分かれば、この後どのような対応を行えばよいのか、判断することが容易になります。

こんな判断を促すことができる脅威インテリジェンスが、「セキュリティ リスク レイティング」です。

「セキュリティ リスク レイティング」はどのように活用できるのか？

では、この「セキュリティ リスク レイティング」というソリューションですが、どのような活用方法があるのでしょうか。

パッと、思いつく利用方法は、自組織のセキュリティ態勢を定量化して判断するという利用方法ではないでしょうか。

続きを見たい場合は

メーカーBlog^

[HTTPS://SECURITYSCORECARD.COM/THREAT-INTELLIGENCE-6-JP](https://securityscorecard.com/threat-intelligence-6-jp)

